

チャール会・大分 会報

2021年(令和3年)10月号

幹 事 長：成瀬 輝一

〒870-0936 大分市岩田町 1-1-1 Tel : 097-558-4344

e-mail : naruse@iwata.ed.jp

事 務 局：岩下 孝子

〒870-0872 大分市高崎 1-5-8 Tel & Fax : 097-546-7899

会報編集・発行：本田 久親

〒870-0875 大分市青葉台 2-5-20 Tel & Fax : 097-543-4013

e-mail : hondahi@oct-net.ne.jp

新型コロナ感染状況はこここのところ改善の兆しを示しており、大分でも感染者数の低下傾向が見られています。しかし、全国的に、人口 10 万人当たりの感染者数、重症者数、病床使用率など、厳しい状況は依然として続いており、まだまだ充分な警戒の取り組みは継続する必要があるとされています。25 日からは絵画展が開催されますが、感染防止対策を講じた上で実施することに致します。

10月の会報をお届けします。

● 9月度月例会報告

【室内写生会】、

9月7日(火)の13時から、コトブキヤで月例の室内写生を行いました。今回も季節の花々やクリやカボチャなど、季節の野菜と果物を描きました。

最後に作品を並べて高木先生に恒例の一口講評をしていただきました。糸井、岩下、佐藤つき、白岩、杉田、中島、野田、橋本、本田の9人と高木先生の計10人の参加でした。



【野外写生会】

9月19日(日)、久しぶりに野外写生で南由布駅に出かけました。9時30分過ぎ3台の車に分乗して出発、道の両側に広がる田んぼの畦道に、深紅や淡黄色の彼岸花が咲き乱れる210号線で庄内を経由して現地に向かいました。この日は連休の中日で、しかも快晴とあってか車が多く、行き還りともかなりの時間がかかりましたが、1時間余りのドライブで南由布駅に到着しました。南由布駅は無人駅で停車する列車も1時間に1・2本ほどですが、運よく「ゆふいの森号」の通過にも出くわしました。駅構内からは、線路の続くはるか前方の正面に由布岳を望み素晴らしい景観でした。ただ、当日現地は薄曇りで、由布岳の山頂部が雲に隠れていたのはいささか残念でした。昼過ぎまで写生を行い帰路につきましたが、途中、庄内梨の直売所に立ち寄り、豊水梨を仕入れて帰りました。参加者は、

糸井、佐藤^{つき}、曾根崎、中島、成瀬、野田、橋本、本田の8人でした。



● 10月度月例会の予定(当番:大野、白岩)

【室内写生会】

10月5日(火)、13時～、コトブキヤでの室内写生を行います。多数ご参加ください。当日参加者には案内状をお配りします。

【野外写生会】

10月は絵画展開催月のため野外は取り止めます。

● 第123回絵画展について

第123回絵画展を10月25日(月)から31日(日)の1週間、アートプラザで開催します。

☆ 案内状の配布:案内状(ハガキ)を一人10枚ずつ、本報に同封してお届けします。

会報をRaraで受信している方には、10月5日の例会の際に配布します。例会に出席できなかった方には後日郵送します。

☆ 搬入日時:10月25日(月)、9時30分

☆ 各作品に目録番号の添付:作品番号を記載した目録のコピーを本報に同封しています(会報をRaraで受信している方は、佐藤典昭さんがRaraで9月8日に発信している記事を参照してください)。

この目録に記載されている作品番号をハガキ大の用紙に明記し、各作品の前面にセロテープ等で脱落しないように貼り付けて搬入してください(箱入りで搬入する作品には箱の表面にも貼

り付けておいてください。

- ☆ 展示作業：展示作業は業者をお願いしていますが、会場のテーブルや椅子のセッティング、作品名ラベルやコメントカードの貼り付け等については皆様のご協力をお願いします。展示順序は目録順に会場の入口壁際から反時計回りに展示します。展示の都合上多少の順序の調整を行います。
- ☆ 作品集用の写真撮影：今回も従来通り作品集の作成を予定しています。全作品の写真撮影を吉村さんをお願いすることにしてはいますが、額装のガラス板やアクリル板があると反射しますので、できるだけ取り外した状態で持ち込んでください。ただし、写真を自身で撮影して、作品集作成をお願いしている佐藤典昭さんに、デジタル画像で直接送られる作品についてはその必要はありません、また、ガラス板或いはアクリル板が容易に取り外せる軽量の作品や、水彩等で取り外すと作品の見栄えが悪くなると思われるものについては取り外さなくて構いません。
- ☆ 会場の受付当番：会場受付当番は会期中の毎日、午前と午後それぞれ2人ずつ必要です。搬入の際に、受付当番の可能な日をお聞きし割り付けします。ご都合の付く方は是非ご協力をお願いします。
- ☆ 搬出：最終日（5/23）の午後4時から作品の撤去及び会場の後片付けを行います。作品取り外し後の吊り具の回収と員数の確認については、ご協力をお願いします。

● 和田 秀隆さんの絵が大分市医師会報の表紙を飾っています。



和田先生の絵が大分市医師会報の19刊夏季(葉月)号(vol.19 2021 Summer)の表紙を飾っています。

【表紙のことば】

「ふる里の春(旧大分郡野津原村)

車が繁く通り、わらぶき屋根がみられなくなりました。裏山のたたずまいは変わらない。風はきよらか。やわらかい日差しが春をつげます。

(令和2年、第121回チャール会出品)

松学園リハビリテーション専門学校 校長 和田 秀隆

【編集後記】

第123回絵画展には従来とほぼ同じ67点の展示ができることになりました。コロナ禍の中、皆様のご協力に感謝します。絵画展開催期間の月末にはコロナの状況もかなりの改善に向かっていることを期待し、盛會を祈っています。

CC 大分 会報編集事務局 本田久親